

一般質問



低米価、ガリン高騰、各種税(料)の増、景気低迷等により、市民生活は大変な状況になっている市民の生活を守る仙北市の施策について

浅利 則夫

市民の生活をどう守る

質問 国に追従した横並びの政策をそのまま私たち仙北市の農家に押しつけるのではなく、全ての農家が安心して継続できるそうした農業を基本にしたい。

市長 仙北市が主として耕作している農業作物はやはり米である。その中で国の施策を頭に描きながら、仙北市の施策を進めるといふ意味では、仙北市の農業に一番あつたやり方で進めているところである。

質問 税金等で負担増の中で節約にも限度がある。こうした急激に厳しいときは、何らかの救済措置を適確に打ち出していくのも市の役目では。

市長 ある判定基準の中で生活に困窮をする、それに耐えられない方々にはそれなりの支援をしていくという考えで、個々に油が高くなった、何が高くなったと言うことで一つ一つについてその対応策を考える段階ではないということ。今特に考えていない。

災害対策

質問 今回の豪雨災害で、河川改修をしたところとしていないところの差が被害に

歴然と現れていた。河川改修の必要性を改めて認識させられた。今回の災害で氾濫した沢や川の河川改修の取り組みについて伺う。

護国 今回の災害と関連している、上松木内の宮田地区で河川改修のために一部用地を購入している箇所がある。計画が事前にあるという立場から一日も早い改修をお願いしたところである。これについて、正式には聞いていないが、今回の補正予算の中に盛り込まれたと聞いている。

認定こども園

質問 昨年の十月に認定こども園制度がスタートした。仙北市の幼稚園、保育園の設置状況を見ると、生保内地区や神代地区においては、幼保一体、あるいは幼保連携ができており、その他の施設では幼稚園単独型、保育園単独型という現状である。こうした単独型の施設を認定こども園とするよう早急に取り組んでいく必要があるのでは。

市長 保育を目的とした保育園と、幼児教育を目的とした幼稚園、基本的には一体化の方向で進むのが好ましいと思う。地域のニーズがどう

であるかということを進めていくべき事であって、一律認定こども園であるということも行き過ぎでは、再度調査の上、認定こども園への取り組みについて考えていきたい。

質問 介護保険の認定のことも書類的に利用させていただきますというように同意書ももらいながら、診断書ももらわない、認定証の有効期間も判定がある限り有効であるというような、ただ欲しいときは役所の方から申請者、該当者に申請書を送って郵送で交付をする、こうした障害者等に易しい政策を打ち出してもらいたいと思う。

障害者認定の対象認定証の発行について

教育 保育園、幼稚園という境をなくする時代、特に就学前の子供の保育、あるいは教育を一体化しているという観点から、小学校以上を預かる私たちとして、幼稚園教育が充実していくという観点で認定こども園は大変いい制度かなと思っている。

市長 認定に当たっては介護認定者であるか、また重度の障害を持った方である、また寝たきりであるとか、様々なことを判断した上で交付しておりますので、やり方については今のところ変える予定はない。

大仙市、美郷町も私どもも同じ要項で対応しているところである。この発行については継続して行うと言ったことを要項の中に記載してございませぬので、一回認定を受けた方については取り消しがない以上はそのまま継続していくということ、何回も手間暇をかけるまでもいいようになっている。



認定こども園制度の取り組みは(だしのこ園)